

大学のスポーツによる地域貢献 に関するアンケート報告書

(社)全国大学体育連合

地域貢献推進ワーキンググループ

2012年8月



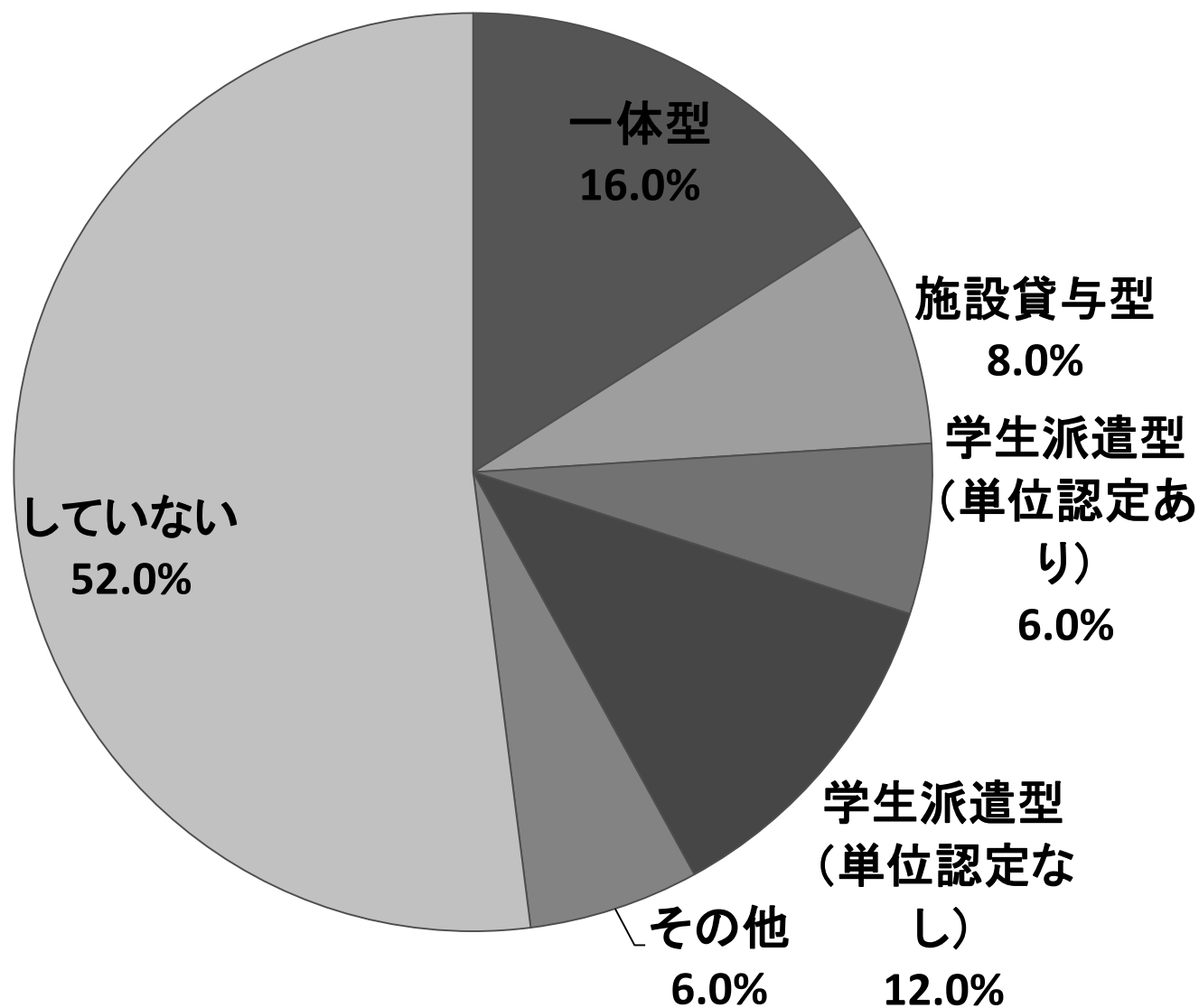
アンケートの概要

- 実施期間: 5月19日(土)から6月4日(月)
- 配布: 体育系学部・学科・専攻(コース)を有する全国の145大学および12短期大学に郵送による配布.
- 回収方法: ファックスによる返信(一部大学は電子メールによる回答)
- 回答数: 50(回収率: 31.8%)

回答大学・短期大学

- * 北翔大学
- * 京都大学
- * 八戸大学
- * 作新学院大学
- * 白鷗大学
- * 中央学院大学
- * 江戸川大学
- * 東京国際大学
- * 東京女子体育大学
- * 法政大学
- * 立教大学
- * 早稲田大学
- * 桜美林大学
- * 神奈川大学
- * 東海大学
- * 新潟経営大学
- * 信州大学
- * 松本大学
- * 金沢大学
- * 金沢星稜大学
- * 常葉学園大学
- * 東海学園大学
- * 中京大学
- * 朝日大学
- * 愛知東邦大学
- * 皇學館大学
- * びわこ成蹊スポーツ大学
- * 関西大学
- * 同志社大学
- * 大阪産業大学
- * 大阪商業大学
- * 大阪体育大学
- * 近畿医療福祉大学
- * 阪南大学
- * 太政学院大学
- * 神戸大学
- * 武庫川女子大学
- * 岡山県立大学
- * 福山平成大学
- * 山口福祉大学
- * 徳島大学
- * 愛媛大学
- * 福岡大
- * 大阪商業大学
- * 大阪体育大学
- * 近畿医療福祉大学
- * 阪南大学
- * 太政学院大学
- * 神戸大学
- * 武庫川女子大学
- * 岡山県立大学
- * 環太平洋大学
- * 別府大学
- * 鹿屋体育大学
- * 北翔大学短期大学部
- * 中京学院大学中京短期大学部
- * 至学館大学短期大学部
- * IPU・環太平洋大学短期大学部

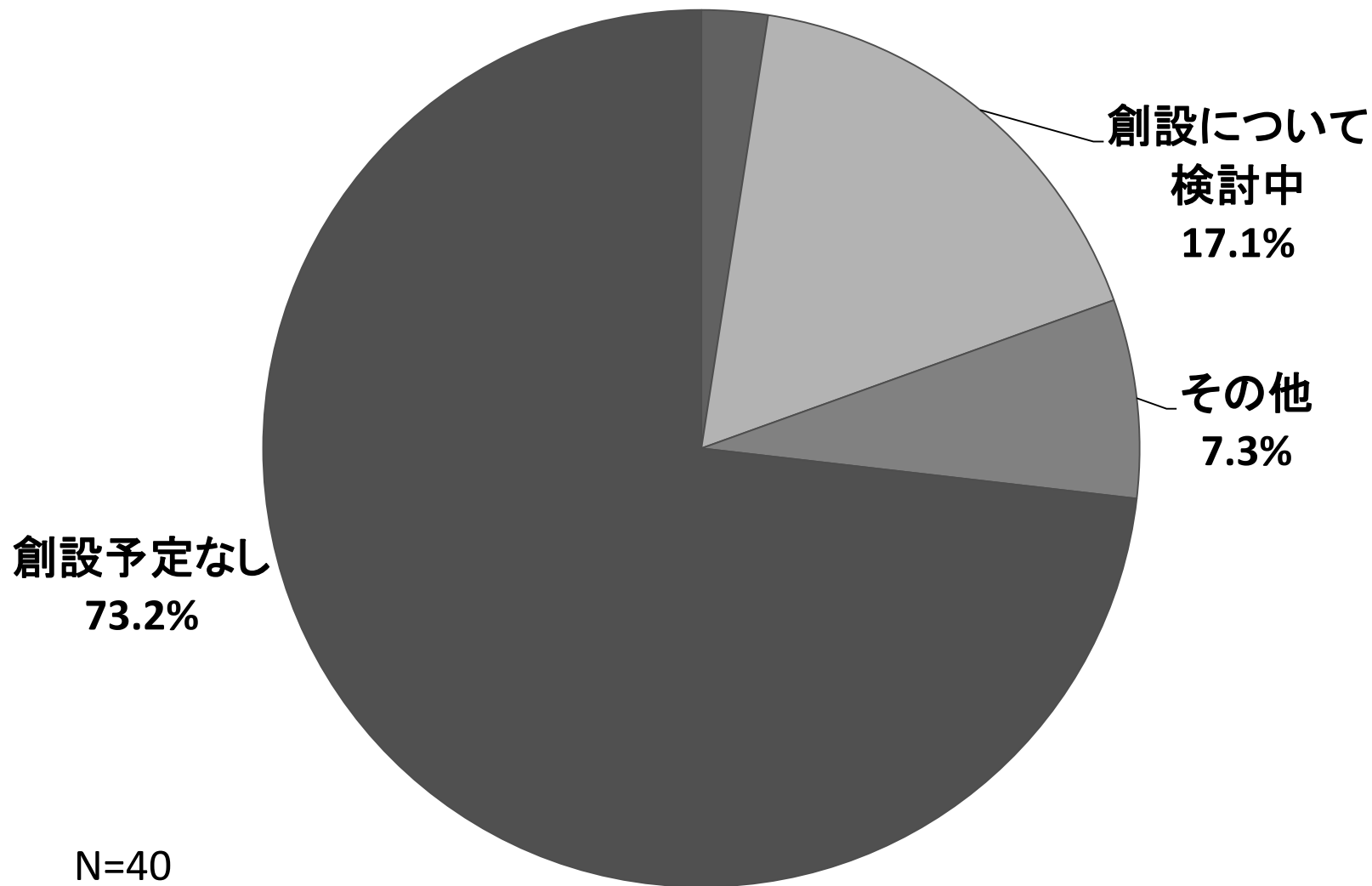
1. 総合型SCの運営または連携



N=50

2. 創設に関する検討 設立を計画中

2.4%



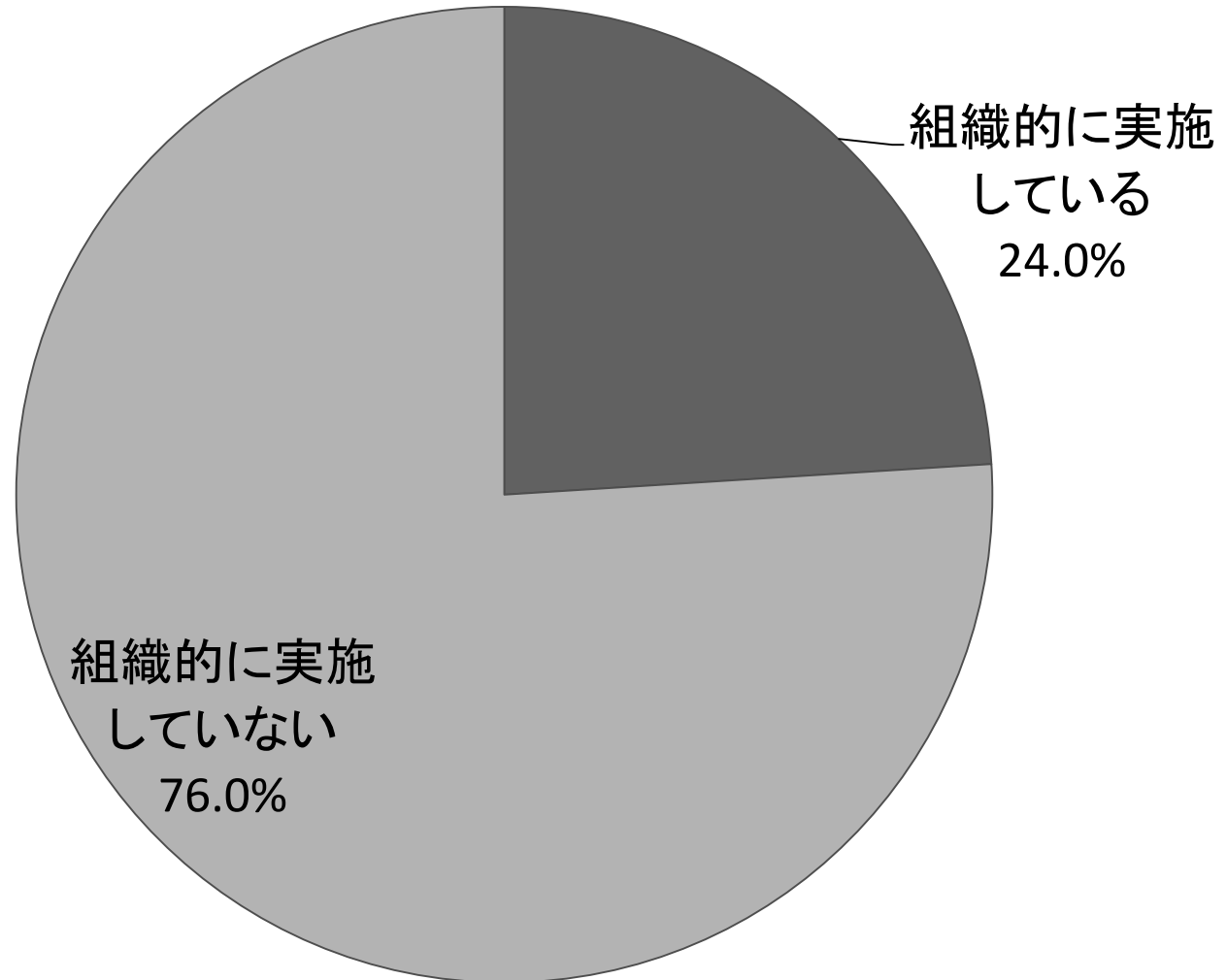
創設予定なし
73.2%

創設について
検討中
17.1%

その他
7.3%

N=40

3. ボランティアの組織的实施

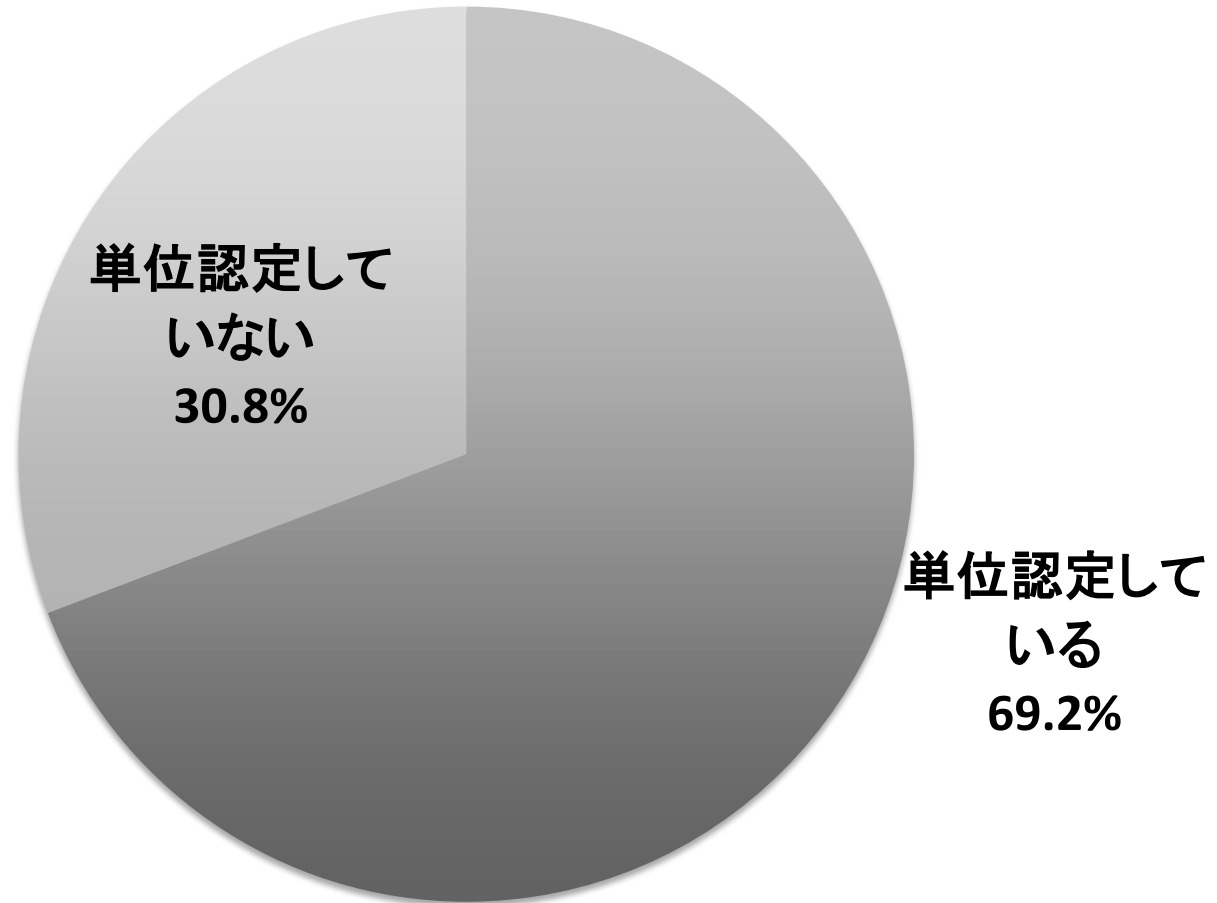


N=50

組織的実施の具体的内容

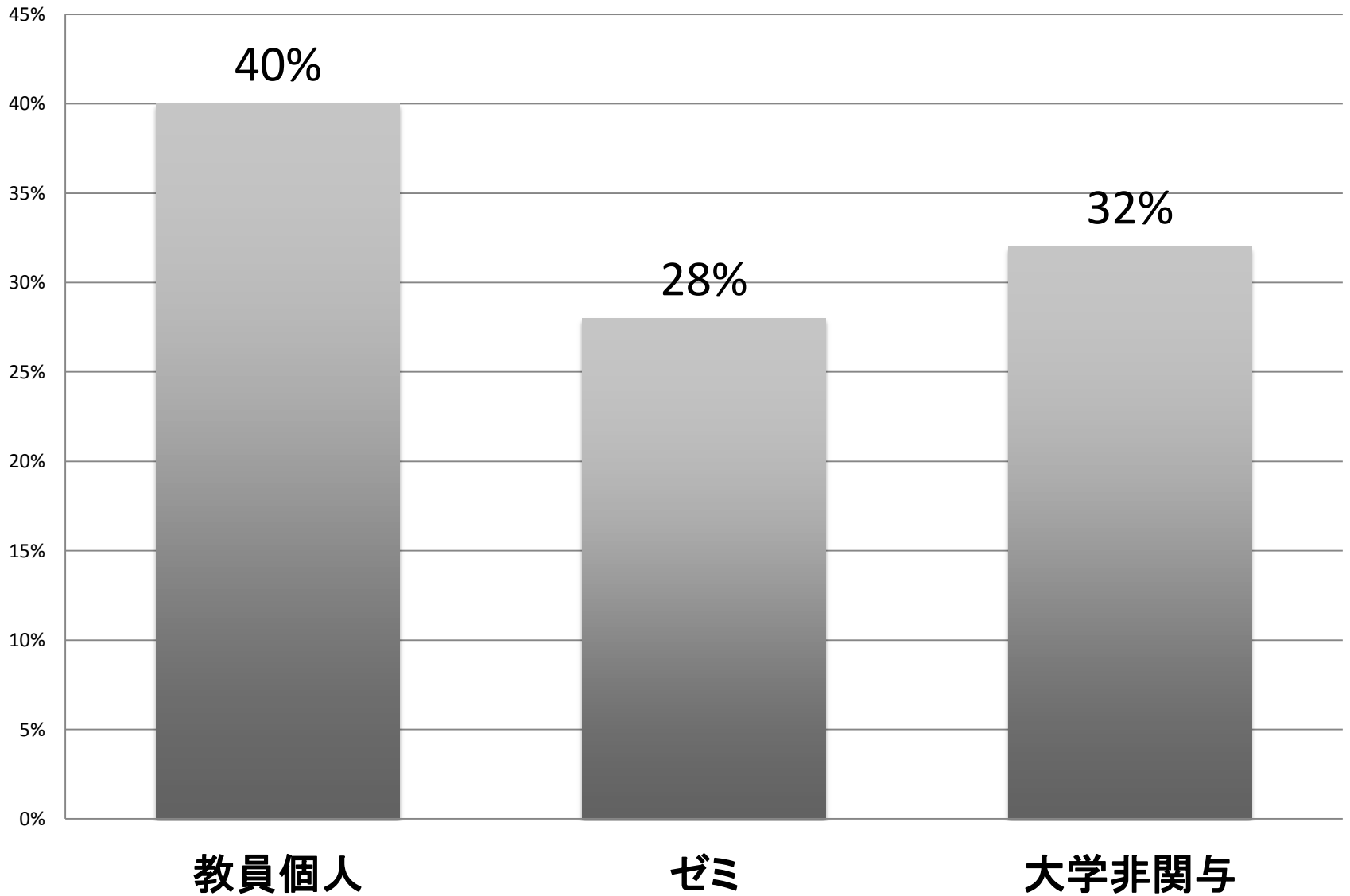
- 総長を理事長としてNPO化している
- 体育会種目：レクリエーションとしている
- ボランティア講座（理論・実習）
- 地域連携センター
- 学生スポーツボランティア支援室
- 生涯スポーツ実践研究センター
- 愛媛大学総合型地域スポーツクラブ，国立大学法人として初めてのクラブ
- 平塚秦野地区との教育交流連携の一環として学生コーチ派遣
- 神奈川県部活動支援学生ボランティア制度の支援
- 中学高校でのクラブ指導など
- ボランティアセンター
- 被災地（気仙沼大島等）の子どもたちと高齢者の方への運動・スポーツ援助支援（東日本大震災復興支援プロジェクトの一環として）
- 桜美林大学総合型地域スポーツクラブ

4. 単位認定の有無(3でボランティアの組織 的实施ありと回答した大学に関して)

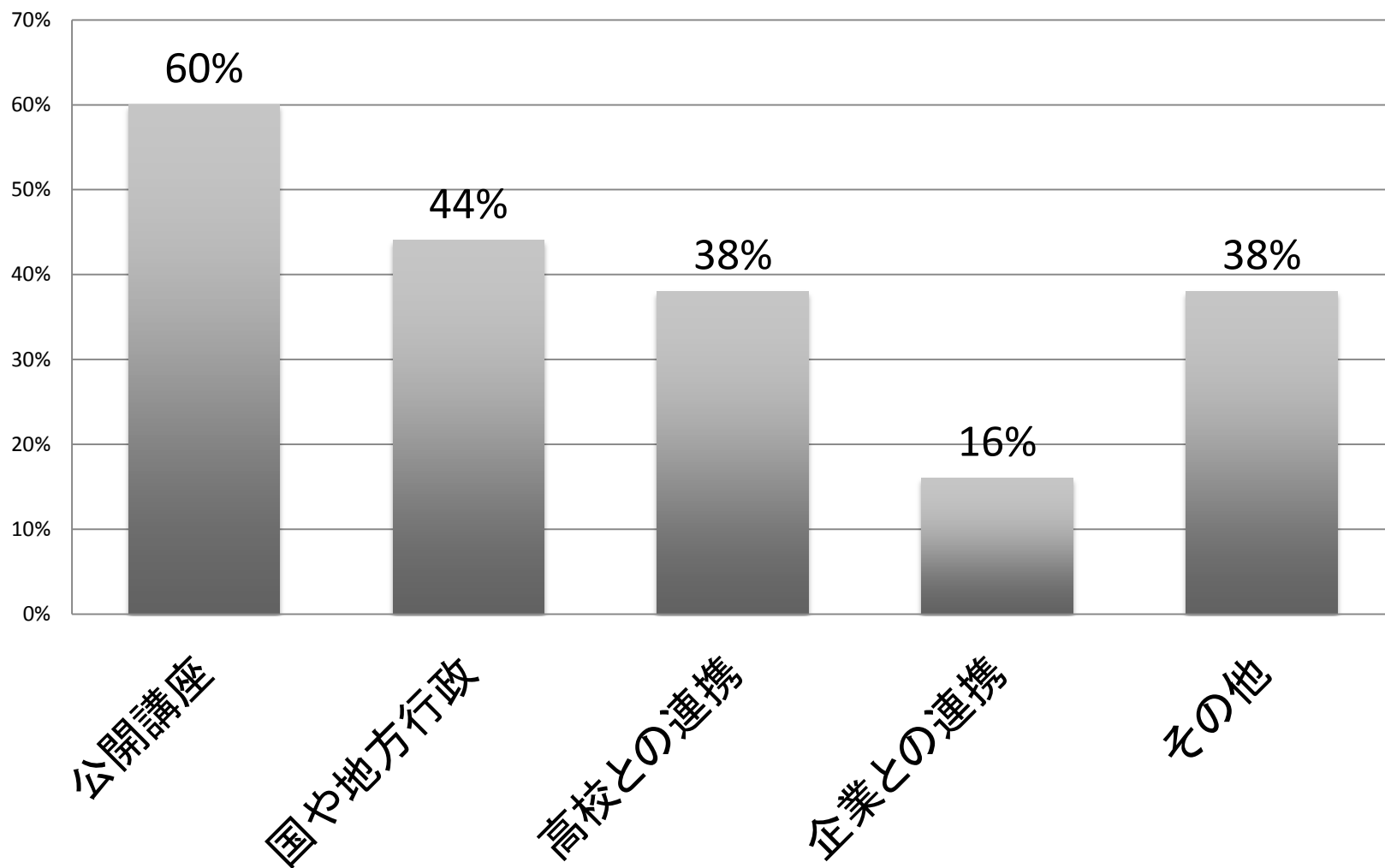


N=14

5. 非組織的實施形態(複數回答N=50)



6. 地域貢献の形態(複数回答N=50)



グラフ6.「その他」回答①

- 地域のスポーツ活動
- 市町村に出向いての健康度チェック(血圧, 対組成など)
- スポーツ科学教室として学部内に「スポーツ健康増進ラボラトリー」を置き, 地域貢献事業にあたっている.
- 「スクールサポート」として市内小中学校体育授業等への支援員派遣
- スポーツ関連NPOの活動支援・連携, 大学コンソーシアム大阪での事業での中学生講座へのプログラム提供など.
- 地元幼稚園児の体力測定. 東京横浜ドイツ学園との交流会など. 地元中学校の部活指導(学生派遣)
- マラソン大会のボランティアスタッフの派遣. プロスポーツリーグ(栃木SC・日光アイスバックス)へのボランティア派遣.
- 自治体での体力測定, 健康教室. 小学校での運動指導.
- 組織のしっかりしている体育会クラブが, 大学の学生による地域貢献事業として, 地域の子どもにスポーツの指導プログラムを展開している例がある. またクラブとしてNPO法人格をとりスポーツクラブを展開しようとしているクラブもある. 実現は難しそう.
- ゼミ単位で子どものスポーツや住民の健康指導の実施.
- いくつかの運動クラブ員による地域子どもたちへのスポーツ指導.

グラフ6.「その他」回答②

- 立地する大府市との連携.
- サッカー部指導者によるジュニア指導
- 各種スポーツ教室等
- 健康シンポジウム
- 地域の保育所, 幼稚園, 小中高への支援. 大学独自の「キッズプログラム」によるフェスティバル開催や巡回指導.

文部科学省に期待する施策や支援策①

- 少子高齢者時代，高齢者の健康問題，医療費の高騰，医療保険制度，介護保険制度の破綻など健康問題が山積みの今日，健康づくりに貢献したいと日夜努力を重ねている若者がたくさんいます．健康運動指導士，健康運動実践指導者の資格が水戸黄門の印籠のようにどこに出しても通用するような国家資格にすることを要望したい．医者，保健士，管理栄養士は言葉の指導はあるが，実践指導がありません．手取り，足とり実際に見本をみせやってみせる運動指導者の国家資格 が必要です．平均的に男性1.5年，女性2.0年他者の世話になる統計があります．この年数を半年でも縮小できれば，医療費の減額につながります．厚生労働省は運動指導士を国家資格にすべきです．
- 行政としてスポーツクラブ制度として地域及び学校関係の施設を開放しスポーツクラブ制度を確立し，学校クラブだけでなく，地域クラブ制度と一帯となり全国レベルの大会を開催しなければ，学校クラブが減少し，世界で活躍する選手が激減すると考えられます．早期に行政指導のスポーツクラブ制度の確立を願う．
- 関係団体である日体協のAT資格者数(増)を図るための政策・施策を考え実行していただきたい．

文部科学省に期待する施策や支援策②

- 体育スポーツ施設の見直しを時代にあった施設にしてほしい。古い、汚い！
- 課外活動の重要性を政策的に明確に打ち出し、もっと支援してほしい。大学は動きそうにない。
- ヨーロッパと比較して、金銭的に裏付けのないスポーツ政策は絵に描いたモチであり、スポーツ基本計画は実行不可能である。
- 大学の機能をさらに活用する施策、その活動を支援するしくみがあると良いと思います。
- トップアスリート派遣事業(プロジェクト)の毎年実施化、選定件数の増加
クラブマネージャー、アシスタントマネージャー等の資格取得に対する補助、講習会等の全国開催(地方での実施)。
- 他省庁や自治体と横のつながりを持って、柔軟な対応ができるような政策を立案して欲しい。
- スポーツ基本法の規定に基づき、策定された「スポーツ基本計画」の推進に期待します。

文部科学省に期待する施策や支援策③

- オリンピック誘致も大事ですが、ドイツのゴールドンプランのような「町の角・角にスポーツ施設を！」で市民レベルでのスポーツの場の増設を提唱すべきである。
- スポーツ振興への助成制度の活用。
- 市の教育委員会等に大学が主催するスポーツ振興事業の後援などを申し出たときに「ひとつの大学とだけ協力はしにくい」といった反応がある。これは、大学が主体となっていく地域支援活動には大学の社会的使命が根底にあるが、広報的な意味も少なからず含まれることに対する過度な反応であるように思える。やる気のある大学と積極的に連携・協働する姿勢を自治体に対して働きかけてほしい。
- 国民全体の健康の維持増進回復に関心を持ち、大学地方行政が積極的に施設の開放、経費支援、指導者や学生補助員の組織作りに指導的役割を果たすことが重要だと考えている。
- スポーツは国を動かす程の影響があります。是非、スポーツ省を立ち上げて国の健全化を計っていただくことを希望します。

文部科学省に期待する施策や支援策④

- なかなか総合型地域スポーツクラブが普及しない中，大学での同クラブの展開は，その人的資源，物的資源からして，同クラブの多彩な展開を期待できる．本学であれば，スポーツ健康学科を中心として，健康栄養学科(栄養面での関与)，観光ホスピタリティ学科(グリーンツーリズムなどとの連携や長野県という自然環境などから，新たなタイプのクラブ展開が可能である．そこで，以下の点について，施策の方向付けや支援をお願いしたい．
 - 1) 大学が総合型SCを創設する場合の手続きを明確に示していただきたい．その際，既の実施している地域貢献事業の評価などによる手続要件の簡略化をお願いしたい．
 - 2) 創設の要件緩和(対象地域の広域化など)をお願いしたい．創設における人的配置，施設充実などの国家的助成をお願いしたい．
 - 3) 大学での総合型SCの創設は，大学による学生の指導力・実践力の向上，地域指導者の養成及び県内総合型地域SCの指導者の拡大・後進の育成に資するところが大きい．しかし，大学の財政面からして，国家的支援が必要であると考えます．

大体連への期待①

- 地域貢献は本学の理念である。協力できることがあればお知らせいただきたい。
- (スポーツ省立ち上げて国の健全化を計っていくこと)に是非積極的に支援していただくことで、全国大学体育連合の存在感を示して欲しいと考えます。
- 本学スポーツセンターの行っている地域スポーツ振興に関わる事業は、「様々な種目を対象としている」「中学生から高齢者までのプログラムの提供」「NPO団体や企業との連携」などの意味で「総合型」であると考えていますが、「総合型地域スポーツクラブ」の概念はその運営に地域住民の主体的参加が含まれているものと解釈して回答しました。(このアンケートでの「総合型地域スポーツクラブ」の概念が少し分かりにくかった。)また、スポーツ教室では「レクリエーション演習」「フィットネススポーツ支援演習」などを履修する学生が活動の補助を行います。授業の一環であり、ボランティアという枠組みではありません。さらに、各イベント形式のスポーツ大会では当該クラブ学生が運営を手伝いますが、クラブ活動の一環として行います。

大体連への期待②

- (早期に行政指導のスポーツクラブ制度の確立すること)に係る働き懸けをお願い致します。
- スポーツ関連資格取得に必要なインターンシップ受け入れを今まで以上に積極的にやってほしいと思います。
- いわゆる教養教育の重要性が再度求められている今、大学体育の重要性をいつでも4年間通して履修できる体制に各大学ができる方策を示してほしい。国にそういう働きかけをしてほしい。そうでないと大学体育の将来が...
- 国に対する発言力をさらに発揮していただければ幸いです。本学もできる限り協力させていただきます。今後ともよろしく申し上げます。
- 平素より大変お世話になっています。今後ともよろしく申し上げます。